

編集・発行・お問い合わせ：株式会社リクルートキャリア 広報部 社外広報グループ
TEL: 03-3211-7117 MAIL: kouho@waku-2.com

サンカク副業社員やサンカクパートナー、イベント参加者にとって、キャリアプランやスキルアップを考えるきっかけや、自信を得られる場として、『サンカク』はどのように役立っているのか？社会人のインターンシップやスポットディスカッションから見えるトレンドや、副業の実態から見える未来の働き方とは？

今、キャリアに関して“もやもや”を感じている方も、一步踏み出せば未来は明るい。その一步踏み出すきっかけを提供している『サンカク』から、「未来のキャリア」についてお届けするニュースレターが「ミラキャリア通信」です。『サンカク』に携わる方々にとって、『サンカク』はどのように未来に向けた自身のキャリアプランやスキルアップを考えるきっかけとなり、自信を得ることができる場となっているのか？社会人のインターンシップやスポットディスカッションから見えるトレンドや副業の実態から見える未来の働き方とは？『サンカク』ならではの情報を活動レポートとして今後もタイムリーに発信していきます。

Vol.3：本業とは異なる機会だからこそ副業では「自分の興味」を優先に

『サンカク』の現場から

Report from Sankak

本業と異なる機会だからこそ「フルスイング」を～自らの「副業経験」から見えてきたこと～

リクルートキャリア 事業推進室 古賀 敏幹

Point

- ① 副業や社会人のインターンシップは、「自分の興味」や「やりたいこと」を優先するべき。本業で培った経験や知見の有無で選択肢を自ら制限することは非常にもったいない！
- ② 本業で得られない打席で失敗を恐れずにフルスイングしてほしい。その先のキャリアは自分自身で力強く決めてほしい！
- ③ 社会人のインターンシップの参加者のうち、3人に1人が、本業の経験やスキルとは異なるテーマに参加

『サンカク』に限らず、キャリアチェンジを検討する際には、「これまで仕事で培った経験や知見を重視すべきなのか」、それとも「やりたいことやチャレンジしたいことを優先すべきなのか」の2択で悩まれる方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

「転職活動中でまさに次の転職先を探すタイミング」での考え方については、多くのキャリアアドバイザーや専門家の方々が既にさまざまな見解・解説を発信されておりますので『サンカク』として改めて「新しいこと」をお話できることはないかもしれませんが、転職するよりも前のタイミングに「自分のスキルが社外で通用するのか腕試ししたい」、「勤務先とは違う社外のことを知りたい」と思い副業や社会人のインターンシップに参加しようと悩まれている方にはいま、お伝えしたいことがあります。

副業や社会人のインターンシップでは「自分の興味」を優先すべき

結論から言うと、「本業がある上で“+α”で行う社外活動（副業や社会人のインターンシップ）」に関しては、「自分の興味」や「やりたいこと」を優先するべきで、本業で培った経験や知見の有無でそれらの選択肢を自ら制限することは非常にもったいないことなのです。

副業や社会人のインターンシップなどにおいて、仮に社外活動の場で失敗をしてしまったとしても、本業に毀損を与えるわけではありません。このような状況の場合においては、むしろ本業では経験できないチャレンジはどんどん積極的に実行すべきですし、回ってきた打席（機会）に対しては、三振なんて恐れずにフルスイングしないともったいないのです。

自分が興味を抱いた副業での経験が自身の「キャリア構築」の刺激に

私自身の経験をお話いたします。私は、前職でエンジニアとして働いていました。その際、プロボノとしてとある NPO 法人のマーケティングに従事したことがありました。当然、当時の本業ではマーケティングについては全く触ることのない、未知の領域です。それでも、私はこの機会をチャンスと捉え積極的に「学び」として挑戦したのです。これは普段の仕事では決して得られることのない機会。且つ、自分自身のその先のキャリアに大きな影響を与える機会でした。当時、エンジニアとして仕事をする中で、エンドユーザーに価値を提供している手触り感がなかったことや、人から提示されたものではなく、もっと世の中に変化をもたらすものを自ら考えて生み出したいと強く思う一方、本業でそのような打席はなかなか回ってこないのは理解していましたが、そもそも「エンドユーザーに価値を提供する」という領域に関して経験がなかったため、「このタイミングで転職するのは難しいだろう」と勝手に感じていました。しかし、前述の NPO 法人での活動を通じて試行錯誤した結果、これまでに経験したことのない手触り感や醍醐味、やりがいを感じ、「職務としての経験がなくてもやっていける。5年、10年、キャリアの回り道をしたとしても、自分の信じる価値を世の中の1人でも多くの人に届ける仕事がしたい」と自分のキャリアを見つめ直すことができました。

その結果、私自身は当社に転職し、『サンカク』の事業開発を担うことになったのです。やはり転職した当初は思うように進まない時期が続き、自分の力不足を痛感することも多々ありました。しかし、NPO 法人での経験と、その時の決意のおかげで突き進むことができました。そしてなにより、転職してからの「もがいた」時間は決して無駄じゃないと胸を張れるようになったのです。

「自分自身で決心をする」ことが重要

私自身の経験から、『サンカク』が提供する価値は、「本業の経験の有無に関わらず、自分がどうありたいかを考えるきっかけになること」だと考えています。『サンカク』には、『サンカク』に携わる方々と決めたサービス独自の「ビジョン・ミッション・行動規範」を策定しています。その中には、「Full Swing（できることよりやりたいを優先し、失敗を恐れぬ）」「Decide Yourself(自分で決める)」というものがあります。

これは、「仮に本業で得られない打席を『サンカク』が提供できるのであれば、失敗を恐れずにフルスイングしてほしい。そして、その先のキャリアは自分自身で力強く決めてほしい」という想いを込めています。その結果、「転職してチャレンジする」という結論であっても、やはり「本業で頑張る」という結論であっても、どちらでも良いと思います。重要なことは、「自分自身で決心をする」ということなのです。なお、『サンカク』が提供する社会人のインターンシップの参加者のうち、全体の約 37%と 3人に1人以上の方が、本業の経験やスキルとは異なるテーマに参加されています（2020年7月時点での集計）。これは『サンカク』として目指す価

値を一定実現できていることの表れだと思いますが、まだまだ道半ば。より多くの方が、自身の興味のあるテーマに、より自由に参加できるようなサービスにしていきたいと考えています。

『サンカク』が提供する社会人のインターンシップでは、未経験の領域に挑戦する方々もいらっしゃることを常に念頭に置いており、参加者に対してテーマに関する補足説明や、考え方のガイドを充実させています。そして、いま「新しい働き方」として注目されている「ふるさと副業」においては、チャレンジする方々を支えられるようなサポート体制の構築をしていきたいと考えています。「ふるさと副業」については今後も積極的に情報発信してまいります。

『サンカク』な人図鑑

Who join Sankak?

『サンカク』に副業社員として携わる注目の方々にフィーチャーしてご紹介します。

第3回目は、サンカクパートナー制度立ち上げ当初から携わってくださっている喜多健介さん。本業とは全く違う領域でご活躍されています。副業では、未知の世界だったイベントの企画・設計にどう対峙していったのかなどをお伺いしました。



- お名前： 喜多 健介さん (31 歳)
- 本業： 経営管理職で、グループ会社管理や M&A 後の PMI、中期経営計画の編成などを担当
- 居住地： 東京都
- 『サンカク』での活動開始時期： 2017 年 6 月～

『サンカク』からインタビュー

現在の『サンカク』への関わり方を教えてください

個別案件ごとのプロジェクトマネジメントを主たる役割としています。クライアントとカスタマーそれぞれの視点を行き来しながら案件全体の品質に責任を持っています。具体的業務としては、要件のヒアリング・定義、集客、コンテンツの企画・設計等を行っています。

『サンカク』へ参加したきっかけ・理由を教えてください

私は、『サンカク』に副業社員として参加する以前から、ユーザーとして何度か『サンカク』を利用したことがあります。そのため、「会社を越えて成長企業に参画できる」点に共感していました。その上で、もっと自分が活躍できる領域(職域)を広げたいと思い、実際に手触り感がある形でアクションできるコトを探していたタイミングに、「サンカクパートナー制度」の立ち上げ時期のお誘いが重なり、参加するに至りました。

『サンカク』に携わってココが変わった！というところは？

前提として、私の本業は、経営管理職で経理バックグラウンドのため、『サンカク』で企画・設計を行う上で本業が有利に働くことはほとんどありません(笑)。そのため、「分からないことをちゃんと自覚する」、「全体像を押さえて構造で理解する」、「しっかりと自分の言葉に焼き直す」、ことにこだわりながら進めています。不利な立場から生まれた行動習慣ですが、「分かるようになるしかない」ことで思考や振る舞いもより前向きになり、意識的に自分に問いを浴びせ続けていることで、自分の引き出しを増やせている感覚があります。

あなたにとって『サンカク』に参加することで「実現できること」とは？

新しい働き方の実践と、セレンディピティの創出だと思っています。私にとって『サンカク』の副業は、収入のためではなく、短期的には「新たな経験や実践知の獲得」、中期的には「自分にとってワクワクするものの追求」と捉えています。前者については、新しい技術やトレンドを反映した最新の働き方の実験台に自分がなれるという点、後者については、『サンカク』に携わる、本業とは異なる素敵な方々との創発や、クライアントの方々からのフィードバックを通じて自分の領域が広がり磨かれていく点から、そのように思っています。

『サンカク』に限らず、社会人のインターンシップへの参加を検討されている方にメッセージをお願いします

社外に出ることの面白さは、自分の立ち位置を普段接しない母集団の中で相対化し、自分の価値を自覚できることにあるのかなと考えています。社内評価の項目がそのまま社外でも通用するかもしれないですし、実は異なる武器を持っていた、ということも少なくありません。また、「インターンシップ」は体験・体感による気づきの醸成を目的に、数時間で参加できるので、時間生産性が非常に高いと思います。私はこれまで一歩踏み出すことで、自分のできること、できないことをはじめ、色々なことに気づく経験をしてきましたが、それを自己認識し、踏み台にしてみたい、と思う方にはとても有用だと思います。まずは軽い気持ちで大きな一歩を踏み出して欲しいなと思います！

副業での経験が本業で生きたこととは？

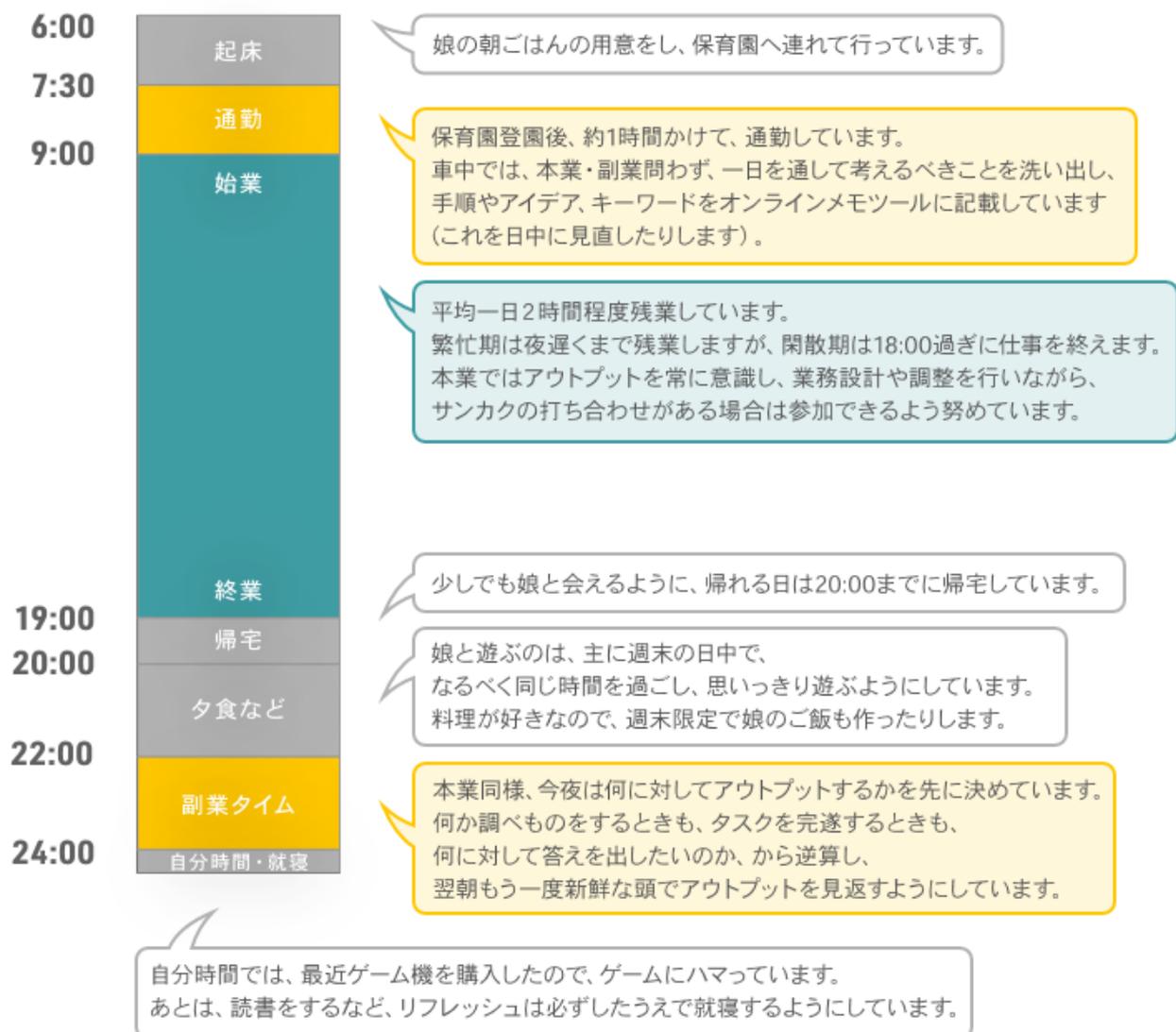
本業では「時間生産性」を意識するように

本業では基本月～金で朝から夕方・夜までロックされ、業務量もそれなりに多い部署に在籍し、プライベートでは一児(2歳)の父でもあります。副業の品質を担保するには、時間あたりのアウトプットの質・量にとことんこだわらないと回りません。結果として、解くべき問いとアウトプットを解像度高くイメージし、逆算して進めることが癖になり、生産性に寄与している実感があります。

喜多さんの1日をチェック！

本業とプライベート、そして副業。どんな生活をしているのか？喜多さんのある1日のスケジュールを教えてくださいました。

喜多さんのある1日のスケジュール ⌚



次回のオンライン開催の「社会人のインターンシップ」は？

今回ご紹介するのは、デジタルマーケティング領域が未経験の方でも参加可能なプログラムと、デジタルトランスフォーメーションに関するプログラムになります。

【株式会社 CyberACE】 # AI # データサイエンス # 社会イノベーション事業

タイトル	【オンライン開催】未経験者も歓迎、サイバーエージェントグループで「本気のコンペ」を体験！デジタルマーケティングの本質を体感できる濃密ワークショップにサンカク
日時	2020年8月22日（土）12：45 接続開始 13：00～18：30
エントリー締切	2020年8月20日（木）12：00 予定
イベントの詳細	https://sankak.jp/event/cyberace

【アクセンチュア株式会社】 # DX # インテリジェントオペレーションサービス # 超自動化

タイトル	【オンライン開催】アクセンチュアの知見とデジタル技術で顧客のビジネスプロセスの超自動化を実現。アクセンチュアオペレーションズにサンカク求む！
日時	2020年8月26日（水）19：15 接続開始 19：30～22：00
エントリー締切	2020年8月24日（月）12：00 予定
イベントの詳細	https://sankak.jp/event/accenture2020

※体験取材をお受けしております。ご興味のある方はお問い合わせください。

※今後の開催スケジュールの詳細は『サンカク』HPの「社会人のインターンシップ一覧」をご確認ください：

<https://sankak.jp/event>

『サンカク』の社会人のインターンシップとは：

『サンカク』が提供する社会人のインターンシップは、大手企業からベンチャー企業まで企業規模や業種に関わらずさまざまな企業が事業課題に関するテーマを掲げ、それらに興味を持ったユーザーがディスカッションを重ねてアイデアや解決策を提示していくサービスです。キャリアアップを目指すディスカッション参加者は、参加後に企業から副業や転職のオファーが届く可能性もあります。2020年8月時点で、登録ユーザー数は累計5.3万人、社会人のインターンシップのサービスをご利用いただいた企業は延べ約280社になります。